



三重陸協たより

三重陸協広報部発行

第1号

平成21年4月26日

梅枝裕吉 (NTN)選手 連続出場 三重県出身者3名が出場 ～世界クロスカントリー選手権～

第37回世界クロスカントリー選手権が3月28日、ヨルダンの首都アンマンのアル・ビシヤラト・ゴルフ場で開催され、シニア男子12kmに梅枝裕吉(NTN)選手が2大会連続の出場を果たしました。また、この大会には、梅枝選手と同じ稲生高校出身の石川末廣・池上誠悟(Honda・埼玉)選手も参加し、三重県出身者が3名も出場しました。

上位4名の順位合計で競う団体戦では日本チームは総合で11位でしたが、石川選手が47位、池上選手が59位、梅枝選手が64位と日本選手の上位3名を三重県出身者が占める健闘をみせてくれました。

3選手を高校時代指導していた行方保先生の談話

長距離は25歳～30歳がピークになると思うので、高校卒業後、大学・実業団で伸びてほしいと思い指導していました。その結果、クロスカントリーで日本代表になれたので、世界でのレース経験をトラックレースで生かして、さらに上を目指してほしい。

川越陸上少年団 2年連続入賞 ～全国小学生クロスカントリー～

日清食品カップ 第11回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会が3月22日(日)、大阪府万博公園内特設コースで開催され、川越陸上少年団が8位に入賞し、昨年に引き続き2年連続入賞の快挙を成し遂げました。

第11回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 成績

第1区	畑中 理良	5分28秒	区間13位	5分28秒	13位
第2区	山田 侑生	5分08秒	区間14位	10分36秒	13位
第3区	伊藤 朱里	5分35秒	区間12位	16分11秒	12位
第4区	駒田紳太郎	5分01秒	区間1位	21分12秒	7位
第5区	伊藤 静香	5分48秒	区間19位	27分00秒	9位
第6区	飯田 康平	5分01秒	区間4位	32分01秒	8位